

# 陸軍航空士官学校校歌

久保田 八雄（五十一期）  
陸軍戸山学校軍樂隊

作詞

作曲

一 玲瓏富士の嶺高く

三 ああ永遠にけがれなき

五 建武の勲 弥薰り

入間の流れ水清し

皇國の空を守らんと

玉歩の跡も度繁く

ここ武藏野の原頭に

澆刺進取の意氣に燃え

賜名は畏 こ修武台

菊花の御章嚴として

力を合わせて進むとき

ああこの榮に咽ぶとき

輝く下に集いたる

空の守りや地のつとめ

五条の勅諭一筋に

われら健児の意氣昂し

渾然として弥鞏し

君が御楯と捧げなむ

二 見よ八州に赫やける

四 血をもて建てし先人の

六 八紘の空風荒れて

六十年の伝統を

動かぬ基礎受けつぎて

妖雲天業阻むとき

遷してここに益良男が

彼蒼に高く輝ける

攘いて進む皇軍の

濁り染まず朝な夕

理想無敵の天つ城

先鋒となりて諸共に

大空かけり地を守り

築かん吾らが大使命

大地を蹴つて空高く

心と技を鍛えなむ

目指して共に進まばや

鵬翼張りていざ往かん